



認知症効果調査 その1

- 特別養護老人ホームに入所している高齢者に対するPALROを使用した活動の効果の調査
 <共同研究者>
 首都大学東京大学院人間健康科学研究科 作業療法科学域 井上薫 准教授
 公益財団法人テクノエイド協会 「平成25年度福祉用具・介護ロボット 実用化支援事業における介護機器 モニター 調査 (実証試験)」

認知症効果調査 その2

- 認知症ケアマッピング(DCM)法を用いた認知症高齢者に及ぼす影響及び効果の実証実験
 <実施者>
 首都大学東京大学院人間健康科学研究科 作業療法科学域 井上薫 准教授
 神奈川県平成25年度公募型「ロボット実証実験支援事業」

認知症対応ロボットの開発

- PALROの新たな機能について藤沢市内23の特別養護老人ホームや認知症グループホームなど的高齢者福祉施設にて試行検証を実施。
 神奈川県さがみロボット産業特区 重点プロジェクト「介護施設における認知症患者を含む高齢者向けコミュニケーションパートナーロボット」

介護予防支援機能 その1

- 体操のパートナーとしての有効性検証及び3次元距離画像センサー「Kinect」を用いた動作計測により、効果を定量的に評価して伝えるシステムの有効性検証。
 <実施者>
 首都大学東京大学院システムデザイン研究科 久保田直行教授
 神奈川県平成25年度公募型「ロボット実証実験支援事業」

認知症効果調査 その3

- 認知症ケアマッピング(DCM)法を用いた認知症高齢者に及ぼす影響及び効果の実証実験
 <共同研究者>
 首都大学東京大学院人間健康科学研究科 作業療法科学域 井上薫 准教授
 公益財団法人テクノエイド協会 「平成26年度福祉用具・介護ロボット 実用化支援事業における介護ロボット等モニター調査事業」

認知症予防・支援機能

- 不穏行動や妄想、暴言などの認知症の行動、心理状況、いわゆる周辺症状(BPSD)の軽減。
 <実施者>
 株式会社言語理解研究所 (徳島大学工学部知能情報工学科) 青江順一 教授
 中小企業庁 平成25年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」

在宅介護の見守り支援機能

- センサーシステムと連携をして在宅介護における被介護者の異常を検知及び介護者への通報や事故を未然に防ぐための体操の促し、声掛けを行う見守りシステムの開発
 経済産業省「ロボット介護機器開発・導入促進事業(開発補助事業)」

介護予防・在宅生活支援機能

- 在宅における高齢者の介護予防効果の検証と在宅生活支援のための課題抽出
 <実施者>
 首都大学東京大学院人間健康科学研究科 作業療法科学域 井上薫 准教授
 神奈川県平成26年度公募型「ロボット実証実験支援事業」

健康寿命延伸体操の開発

- 転倒予防、体力向上のための運動指導プログラムの開発
 <共同研究者>
 医療法人社団清心藤沢病院企画調査室 石井千恵室長
 <協力機関>
 日本股関節振興財団、京都大学、東京都健康長寿医療センター研究所、横浜市立大学、藤沢市

介護予防支援機能 その2

- PALROの話す頻度や内容によるモチベーション等への影響・効果の検証と高齢者の自発的な健康づくりを促すシステム開発
 <実施者>
 首都大学東京大学院システムデザイン研究科 久保田直行教授
 神奈川県平成26年度公募型「ロボット実証実験支援事業」

健康寿命延伸事業環境整備 その1

- PALROが運動指導を行う運動教室(バルロサイズのビジネス実証事業)
 <共同研究者>
 医療法人社団清心藤沢病院企画調査室 石井千恵室長
 <協力機関>
 京都大学、東京都健康長寿医療センター研究所、上村鶴生会、健康医学協会、浜銀総研、上馬整形外科クリニック
 経済産業省 平成27年度健康寿命延伸産業創出推進事業

介護予防支援機能 その3

- 通常対話、生涯学習支援、健康づくり支援等のモードを開発し、各モード様々なパターンで組み合わせ、高齢者・ロボット間の信頼形成に必要なコミュニケーションを調査
 <実施者>
 首都大学東京大学院システムデザイン研究科 久保田直行教授
 神奈川県平成27年度公募型「ロボット実証実験支援事業」

認知症ケアへの活用検討

- 特別養護老人ホームにおける利用者の認知機能の改善効果の検証
 <実施者>
 東京大学大学院医学系研究科 先端臨床医学開発講座 鈴木淳一 准教授

コミュニケーションロボット 活用可能性の調査

- 4ヶ月にわたるモニタリングを実施。利用者のQOL・ADLの変化をWHO(世界保健機関)が策定した国際的な基準で定量的に調査・分析を実施。
 AMED 平成28年度 ロボット介護機器開発・導入促進事業(基準策定・評価事業) 「ロボット介護機器開発に関する調査」

神奈川県藤沢市と介護予防・日常生活支援総合事業への適用に向けて協議中。

介護予防支援機能 その4

- 介護施設などで、利用者に対し様々な会話パターンによる体操指導を行い、モチベーション維持・向上に有効なコミュニケーションの調査
 <実施者>
 首都大学東京大学院システムデザイン研究科 久保田直行教授
 神奈川県平成28年度公募型「ロボット実証実験支援事業」

健康寿命延伸体操の拡充

- 認知症予防運動「コグニサイズ」の搭載・実施
 神奈川県「コグニサイズ実演ロボット開発委託事業」

在宅生活支援機能

- 回復期リハビリテーション病棟退院後で在宅リハビリテーション中の患者における機能維持効果の実証
 <実施者>
 国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター

健康寿命延伸事業環境整備 その2

- PALROを用いた高齢者等の認知症予防・改善につながるサービス創出に関する調査
 <実施者>
 日本大学 工学部 酒谷 薫 教授
 NEDO IoTを活用した新産業モデル創出 基盤整備事業

介護予防支援機能 その5

- 各種会話パターンを組み合わせ、体操継続へのモチベーション向上にとどまらず、毎日が楽しくなるようなコミュニケーション手法の検証。
 <実施者>
 東京工芸大学 工学部 大保 武慶 助教授
 神奈川県平成29年度公募型「ロボット実証実験支援事業」

高齢者の自立支援のための機能開発

- 生活機能状態記録ツール及び睡眠測定センサーから取得した情報を元に、介護者個々の自立支援に繋がる「促し」を行う機能開発を実施。
 AMED 平成30年度 ロボット介護機器開発・標準化事業 (開発補助事業)

健康寿命延伸事業環境整備 その3

- PALROを用いた高齢者等の認知症予防・改善につながるサービス創出に関する調査・実証。
 <実施者>
 日本大学 工学部 酒谷 薫 教授
 AMED 平成30年度IoT等活用行動変容研究事業

2013年度

2014年度

2015年度

2016年度

2017年度

2018年度